



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イリーゼ南3条 住宅型有料老人ホーム	階数	地上7F
建設地	札幌市中央区南3条西1丁目10-3,-4,-5,11-2-3,-4,-5	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	95人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年4月1日
敷地面積	893㎡	作成者	明円 直志
建築面積	686㎡	確認日	2014年7月10日
延床面積	3,816㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>注) 「A: 省エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>	
<p>B 省資源等</p> <p>注) 「B: 省資源等」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>	<p>C 緑化</p> <p>注) 「C: 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>	<p>D 雪処理</p> <p>注) 「D: 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される